

課題名	「2019 年度分の基本検査項目データの性・年齢別解析」 「人間ドックは、慢性腎臓病の発症抑制に寄与しているのか？」 「人間ドックは、心房細動の発症抑制に寄与しているのか？」
承認番号	調 2020-11 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 健診センター 氏名 菅野 みほ
研究期間	(西暦) 2021 年 1 月 ~ (西暦) 2030 年 3 月
研究の意義・目的	<p>今回、日本人間ドック学会から、当院の人間ドック受診者様の検査データの提出依頼がありました。当センターは本学会の会員として、日頃より学会活動に協力しています。</p> <p>この学会は、「わが国独自の健康診断システムである人間ドック健診により、予防医学としてのがんをはじめとする生活習慣病の罹患率・死亡率を減少させるとともに、国民の健康増進を目的とする学術団体」です。さらに、人間ドックデータからみた、日本人の臨床検査基準値の策定、人間ドック受診者の経年変化、および国民の健康における人間ドックの有用性を明確にすることなどを目的として、2012 年度より人間ドックデータを収集・解析するプロジェクトに取り組んでいます。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>2019 年 4 月～2020 年 3 月に当院にて人間ドック健診を受診した 2,165 名を対象とし、この検査データを基に下記①②③の解析を行います。</p> <p>①「2019 年度分の基本検査項目データの性・年齢別解析」 ②「人間ドックは、慢性腎臓病の発症抑制に寄与しているのか？」 ③「人間ドックは、心房細動の発症抑制に寄与しているのか？」</p>
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	<p>本研究の目的のみにデータを利用します。個人情報には研究に使用しません。2020 年 10 月 10 日の日本人間ドック学会の倫理・利益相反委員会の倫理審査において承認を得ました。医学雑誌や学会に発表される場合はプライバシーを保護するために、受診者の氏名、生年月日、住所など、個人を特定できる情報は公表されず外部に漏れることはありません。研究対象者からデータ利用不可の連絡があった場合、その旨を記録し解析には用いません。研究対象者が不利益を被ることがないように留意し対処します。</p>
利用又は提供する 試料・情報の項目	<p>健診結果の情報(年齢、性別、身体計測、血圧、聴力、眼科検査、血液検査、尿検査、便潜血、呼吸器機能、心電図、胸部 X 線、上部消化管内視鏡、上部消化管造影検査、腹部超音波検査、子宮頸部細胞診、乳腺、特定健康診査質問票)、ある場合は問診データ、現病歴、既往歴および家族歴</p>
試料・情報を 利用する者の範囲	<p>健診センター 菅野 みほ 日本人間ドック学会「大規模データとその活用を検討する委員会」委員長 加藤 公則</p>
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	<p>横浜市立みなと赤十字病院 健診センター 菅野 みほ 日本人間ドック学会「大規模データとその活用を検討する委員会」委員長 加藤 公則</p>
問い合わせ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 健診センター 氏名 菅野 みほ</p>

	TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101
--	--